

〔編集後記〕 扇谷正造が、『あとがき』というものは、むつかしいものである。毎回、本文の方を書くよりも頭をいためている」と書いていたので、彼でもそうなのかと安心したことがある。

この号，“比較診断学”の第2号である。幸い、力作がそろってホッとしているが、「比較診断学とはなにか」ということに対するコンセンサスが得られていない現状では、あえて消化器病学の真空地帯に挑戦したと言えるかもしれない。

消化管という「連続体に生じた裂けめ(=境界)」(赤坂憲雄)も、線とみるか、地帯あるいは領域として認識するか、視点の差によって、おのずから解釈は違ってくるだろう。

消化器病学があまりにも細分化した今日では、共通性を抽出したうえで逸脱性を知ることは難しくなったと言えるだろう。専門分化して、ある臓器のミクロコスモスに安住しているものには、他の臓器研究者はマレビトであるからである。

とにかく，“比較診断学”の完成は「胃と腸」の悲願の1つになった。悲願とは、悲壮な願い、ぜひとも達成しようと心から念じている願望(広辞苑)である。たとえば、ホメロースに「境を横切るもの」という言葉がある。臓器境界を越えた診断学には、両義的な空間認識が要求されるかもしれない。これが見通しがつけば、円環論もやってみたいものだ。

竹本 忠良

胃と腸

発売予定 3月2日
定 価 1,700円

3月号(第21巻・第3号)予告

主題／大腸早期癌診断におけるX線と内視鏡との比較

主 題 大腸早期癌診断におけるX線・内視鏡同日併用法のメリット・

デメリット……………仙台市医療センター・内科

大腸早期癌におけるX線診断の実態……………順天堂大・消内

大腸早期癌における内視鏡診断の実態……………東大医大・消化器病センター

右側結腸における大腸早期癌の診断能の比較……………東大・1外

左側結腸における大腸早期癌診断の実態—実地医家の立場から……………野垣病院

座談会 大腸早期癌診断におけるX線と内視鏡との比較……………癌研・内科

症 例 大腸病変を随伴したサルコイドーシスの1例……………虎の門病院・消

下行結腸癌を合併した Peutz-Jeghers 症候群の1例……………東京慈恵医大・1外

良悪性の鑑別が困難であった直腸リンパ性ポリープの1例……………信州大・2内

IIa+IIc 様形態を呈した大腸腺腫内癌の1例……………佐藤胃腸科外科病院

低蛋白血症を伴った多発性胃腺型腺腫と考えられた1例……………久留米大・2内

小IIc 様早期十二指腸癌の1例……………福岡大・1内

(編集頁の都合で掲載論文が若干変更になることがあります。)

豊原 時秋・他
松川 正明・他
長廻 紘・他
斉藤 幸夫・他
野垣 茂吉・他
丸山 雅一・他
山田 直行・他
高橋日出雄・他
赤松 泰次・他
紙谷 晋吾・他
草場 通・他
瀬尾 充・他

胃と腸(第21巻 第2号)

1986年2月25日発行(毎月25日発行)

1部定価1,700円(配送料80円)

編 集 早期胃癌研究会

(年ぎめ予約購読料19,080円)

発 行 株式会社 医学書院

送料弊社負担

代 表 者 椿 孝雄

〒113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

FAX (03) 815-7802

☎ 受付台 (03) 817-5600

振替口座 東京 7-96693 番

本誌編集室直通 (03) 817-5714

印 刷 所 永和印刷株式会社 ☎ (03) 813-5001

販売部直通 (03) 817-5659

広告取扱 医界広報社 ☎ (03) 814-5711

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1986, Printed in Japan.

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となる場合がありますので御注意下さい。

(担当) 窪田・長谷川・大竹